

本学大学院への進学を希望する4年生の方

令和3年度後期「先行履修制度」について

令和3年度より、本学大学院への進学を希望する学部4年生に大学院授業科目の履修を認める「先行履修制度」を開始しました。

修得した単位は、大学院で修得したものとして認められますので、大学院進学後に時間を有効活用することができます。

後期の先行履修を希望する場合は、下記の内容をよく読んで、期日までに必要な手続きを行ってください。

【先行履修の要件】

- ・本学大学院への進学を希望する学部4年生であること
- ・3年次終了時点で110単位以上修得していること

【先行履修できる単位数】

- ・1セメスターあたり8単位まで

【先行履修できる授業科目】

別紙「令和3年度後期先行履修制度開講科目」を確認してください。

※進学を希望する専攻・コースで開講される予定の科目の先行履修をお勧めします。

【先行履修するための手続き】

9月21日(火)から9月28日(火)の後期履修登録期間中に、次の2点を事務局教務チームに提出してください。様式はイントラネット「教務担当からのお知らせ」に掲載してあります。

- ・先行履修生入学願書
- ・先行履修生推薦書(指導教員に記入していただく書類)

問い合わせは事務局教務チームまで

○令和3年度後期先行履修制度開講科目(総合システム工学専攻進学希望者向け)

		大学院進学後の認定科目(予定)															
		総合システム工学専攻															
種類	現科目名	時間割	共通基礎・学際科目	単位	専門科目 (コース共通)	単位	専門科目 (機械工学コース)	単位	専門科目 (知能メカトロニクスコース)	単位	専門科目 (情報工学コース)	単位	専門科目 (建築学コース)	単位	専門科目 (経営システム工学コース)	単位	
共通基礎・学際科目	プレゼンテーション	火曜3限	プレゼンテーション	2													
	英語プレゼンテーションA	水曜5限	英語プレゼンテーションA	2													
	地域社会と家族	水曜3限	地域社会と家族	2													
	標準化論A	金曜4限	標準化論A	2													
	失敗工学A	火曜2限	工学的失敗論A	2													
(機械知能システム工学専攻) 専門科目	材料構造系	超精密加工学	火曜3限			先端加工学	2										
		先端材料強度特論	金曜2限			先端材料強度特論	2										
		弾性波動論	月曜5限			機械力学特論	2										
	熱・流体系	プラズマ工学	金曜3限			プラズマ工学	2										
		エネルギーシステム学特論	金曜5限			エネルギーシステム学特論	2										
		燃焼工学	水曜2限			燃焼工学	2										
	生体知能系	機械知能学特論	金曜4限					機械知能学特論	2								
		知能化機械設計論	木曜2限			人間機械系設計論	2										
		バイオエンジニアリング特論	水曜4限					バイオエンジニアリング特論	2								
		メカトロニクス特論	水曜3限					メカトロニクス特論	2								
(電子情報システム工学専攻) 専門科目	電子システム系	通信システム特論	月曜4限					通信システム特論	2								
		エネルギー変換工学特論	金曜4限					エネルギー変換工学特論	2								
	情報システム系	デジタル信号処理特論	木曜3限							デジタル信号処理特論	2						
		音信号処理特論	月曜3限							音信号処理特論	2						
		パターン認識特論	火曜2限							パターン認識特論	2						
		数値解析学特論	金曜3限							数値解析学特論	2						
	電子デバイスシステム系	情報ネットワーク特論	木曜2限							情報ネットワーク特論	2						
		半導体材料・プロセス工学	水曜2限					半導体材料・プロセス工学	2								
	電子デバイス工学特論	水曜4限					電子デバイス工学特論	2									
	(建築環境システム工学専攻) 専門科目	構造系	基礎設計論	月曜4限										建築基礎構造論	2		
大架構造設計論			水曜2限										建築構造設計論	2			
建築振動論			月曜2限											建築振動論	2		
木質構造設計論			集中											木質構造設計論	2		
計画系		都市・建築設計論	水曜4限											都市・建築設計論	2		
		環境設計論	火曜2限											建築環境設計論	2		
		都市環境論	金曜3限											都市環境論	2		
環境系		環境設計論	火曜2限											建築環境設計論	2		
	都市環境論	金曜3限											都市環境論	2			
(経営システム工学専攻) 専門科目	社会情報管理系	会計システム論	木曜2限											会計システム論	2		
		応用情報処理特論	月曜3限											応用情報処理特論	2		
		経営学特論	金曜4・5限											実践経営工学	2		
		社会経済学特論	水曜3限											経営経済学	2		
	産業環境	環境型生産管理論	金曜4・5限											環境型生産管理論	2		
		ライフサイクルデザイン製品技術論	金曜3限											ライフサイクルデザイン製品技術論	2		
	実践	現役社長の講話 I	集中	現役社長の講話	1												
	(共同LCD工学専攻) 専門科目	秋田県立大学 開講科目	プラズマ工学	金曜3限			プラズマ工学	2									
都市環境論			金曜3限									都市環境論	2				
ライフサイクルデザイン製品技術論			金曜3限											ライフサイクルデザイン製品技術論	2		
環境型生産管理論			金曜4・5限											環境型生産管理論	2		
音環境工学			金曜2限														

「総合システム工学専攻」の修了要件(現時点の予定なので変更の場合があります)

共通基礎・学際科目から6単位以上、専門科目から必修12単位(*)を含む24単位以上を修得し、うち10単位以上は所属するコースの専門選択科目から修得すること。また、2単位以上を所属コース以外の専門選択科目(コース共通、他コース選択、他専攻、他研究科含む)から修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格すること。

※必修12単位は「総合システム工学専門セミナー:4単位」と「総合システム工学特別研究:8単位」でいずれも先行履修不可の科目なので、大学院進学後に履修することとなります。

○令和3年度後期先行履修制度開講科目(共同サステナブル工学専攻進学希望者向け)

		大学院進学後の認定科目(予定)								
		共同サステナブル工学専攻								
種類	現科目名	時間割	共通科目	単位	専門科目 (専攻共通)	単位	専門科目 (エレクトロモビリティコース)	単位	専門科目 (社会環境システムコース)	単位
共通基礎・学際科目	プレゼンテーション	火曜3限	プレゼンテーション	2						
	英語プレゼンテーションA	水曜5限	英語プレゼンテーションA	2						
	標準化論A	金曜4限	標準化論A	2						
	失敗工学A	火曜2限	工学的失敗論A	2						
専(機械)科目	熱・流体系	プラズマ工学	金曜3限						プラズマ工学	2
		知能化機械設計論	木曜2限				人間機械系設計論	2		
		メカトロニクス特論	水曜3限				メカトロニクス特論	2		
専(電子)科目	電子システム系	通信システム特論	月曜4限		通信システム特論	2				
		エネルギー変換工学特論	金曜4限				エネルギー変換工学特論	2		
専(建築)科目	計画系	都市環境論	金曜3限						都市環境論	2
	環境系	都市環境論	金曜3限						都市環境論	2
専(経営)科目	社会情報管理系	経営学特論	金曜4・5限		実践経営工学	2				
	産業環境管理系	環境型生産管理論	金曜4・5限						環境型生産管理論	2
		ライフサイクルデザイン製品技術論	金曜3限						ライフサイクルデザイン製品技術論	2
専(共同)科目	秋田県立大学開講科目	プラズマ工学	金曜3限						プラズマ工学	2
		都市環境論	金曜3限						都市環境論	2
		ライフサイクルデザイン製品技術論	金曜3限						ライフサイクルデザイン製品技術論	2
		環境型生産管理論	金曜4・5限						環境型生産管理論	2
		音環境工学	金曜2限						音環境工学	2

「共同サステナブル工学専攻」の修了要件(現時点の予定なので変更の場合があります)

科目区分	授業科目の名称	開講期	単位数			
			必修	選択	自由	
共通科目	等外国語科目 科目等	実践英語A	前期	2		
		英語プレゼンテーションA	後期	2		
		科学技術と倫理	前期	2		
		工学的失敗論A	後期	2		
	共通科目B	知的所有権論A	前期	2		
		標準化論A	後期	2		
		信頼性工学A	前期	2		
		プレゼンテーション	後期	2		
小計(8科目)			0	16	0	
専門科目	専攻共通	経営経済学	後期	2		
		実践経営工学	集中	2		
		システム構築論	前期	2		
		地域産業活性化演習	後期	2		
		環境リスク管理技術特論	前期	2		
		通信システム特論	後期	2		
		地域産業プロジェクト演習	通年	2		
		サステナブル工学特別研究	通年	10		
	エレクトロモビリティコース	輸送・機械	ロボット工学特論	前期	2	
			輸送機械特別所修I	集中	1	
			輸送機械特別所修II	集中	1	
		要素技術	エネルギー変換工学特論	後期	2	
			三次元CAD活用論	前期	2	
			人間機械系設計論	後期	2	
	社会環境システムコース	環境配慮設計(ライン)	ライフサイクルプランニング基礎	前期	2	
			ライフサイクルアセスメント	前期	2	
			環境型生産管理論	後期	2	
			ライフサイクルデザイン製品技術論	後期	2	
		再生可能エネルギー	プラズマ工学	後期	2	
			音環境工学	後期	2	
都市環境論			後期	2		
環境・エネルギー工学			前期	2		
小計(26科目)			14	42	2	
合計(34科目)			14	58	2	

必修科目を含めて30単位以上(秋田大学と秋田県立大学の開設科目からそれぞれ10単位以上を含む)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び試験に合格すること。

【履修方法】

○各コースの学生は、共通科目の外国語等科目または専門科目のAero-Space Engineering I-II(※秋田大学開講科目のため、左の表には記載無し)から1単位以上、倫理等科目から1単位以上を履修すること。

○エレクトロモビリティコースの学生は、輸送・機械システムから4単位以上、要素技術から4単位以上を履修すること。

○社会環境システムコースの学生は、環境配慮設計(ライフサイクルデザイン)から4単位以上、再生可能エネルギーから4単位以上を履修すること。

○修了要件の30単位に、両大学院の他専攻で修得した科目を2単位まで含めることができる。